



# 2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 5月～2024年 4月)



TJ Group

株式会社 都市樹木再生センター

作成日： 2024年8月20日



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0012925

## 環境経営方針

### <基本理念>

当社は、設立以来、木質廃棄物、山林未利用材等の資源化を通して木質資源の有効活用を目指した事業を十数年行って参りました。そして更なる木質資源の価値向上のために、当社が資源化した木質燃料を使用しバイオマス発電を行うBPS大東、生み出された電気を供給するグリーンパワー大東というグループ会社を設立し、TJグループとして各社でバトンをつないで木質資源の地産地消事業を行っております。私達は取り組む事業が「資源をつなぐ、価値をつくる」ものであると信じ、これからもより一層、木質資源の価値向上と環境負荷低減に努めてまいります。

### <行動指針>

1. 環境関連法規制や、当社が約束したことを遵守します。
2. 以下の項目について環境目標・活動計画を定め、継続的改善に努めます。
  - ・ 電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減
  - ・ 廃棄物の削減及び再資源化の推進
  - ・ 水資源保全の為に節水の推進
3. 環境方針は全従業員に周知し意識の向上を図ります
4. 環境への取り組みを環境経営レポートにまとめ情報公開します。

制定日：2018年4月1日

改定日：2019年4月1日

株式会社都市樹木再生センター

代表取締役社長 **東野 隼士**

(1) 名称及び代表者名

株式会社都市樹木再生センター  
代表取締役社長 東野 隼士

(2) 所在地

本社（登記上）  
大阪府大東市大字龍間698番地



工場

大阪府大東市大字龍間1195番地ほか4筆



事務所

大阪府大東市大字龍間1266番5

(4) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業及び中間処理業、一般廃棄物再生利用業（再生活用、再生輸送）



(5) 事業の規模

法人設立 2002年5月27日  
資本金 1,000 万円  
売上高 120,015 万円（2023年5月～2024年4月）

	工場・事務所
従業員	24名
延べ床面積	約33,000㎡

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	8,372 t		
中間処理量	49,593 t	うち再資源化量	49,593 t

受託した一般廃棄物

処分量	13,385 t
-----	----------

事業年度 5月～翌4月

主要設備

名称	台数	備考
破碎機	2基	240 t / 日
バックホウ	9台	
ペイローダー	5台	
篩機	2台	100m <sup>3</sup> /h
堆肥化施設	1基	1.0 t / 日
チップパー	2基	有価材専用
3 t ダンプ	1台	
4 t ダンプ	3台	
4 t コンテナ	4台	
10 t コンテナ	2台	
10 t ダンプ	2台	

## □認証・登録の対象組織・活動

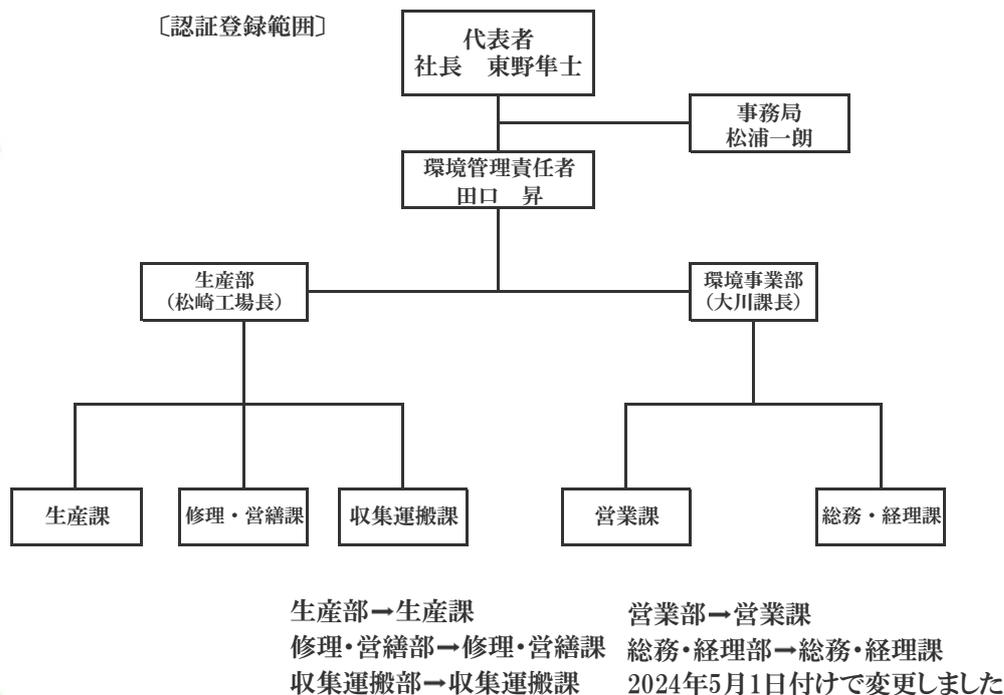
登録組織名： 株式会社都市樹木再生センター

対象事業所： 工場・事務所

対 象 外： なし

活 動： 産業廃棄物収集運搬業及び中間処理業、一般廃棄物再生利用業

## □組織図



## □役割・責任・権限

### ○代表者

- ・エコアクション21 システムの統括
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・環境経営方針の策定
- ・環境管理責任者の任命
- ・全体の評価と見直し

### ○環境管理責任者

- ・エコアクション21 システムの構築、運用
- ・環境活動の結果の代表者への報告

### ○事務局

- ・環境管理責任者の補佐
- ・環境データの集計、取りまとめ
- ・環境関連文書及び記録の管理
- ・外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応

### ○各部門長

- ・各部門に関連する環境経営計画の実行等
- ・実務教育、訓練（専門教育）の計画、実施

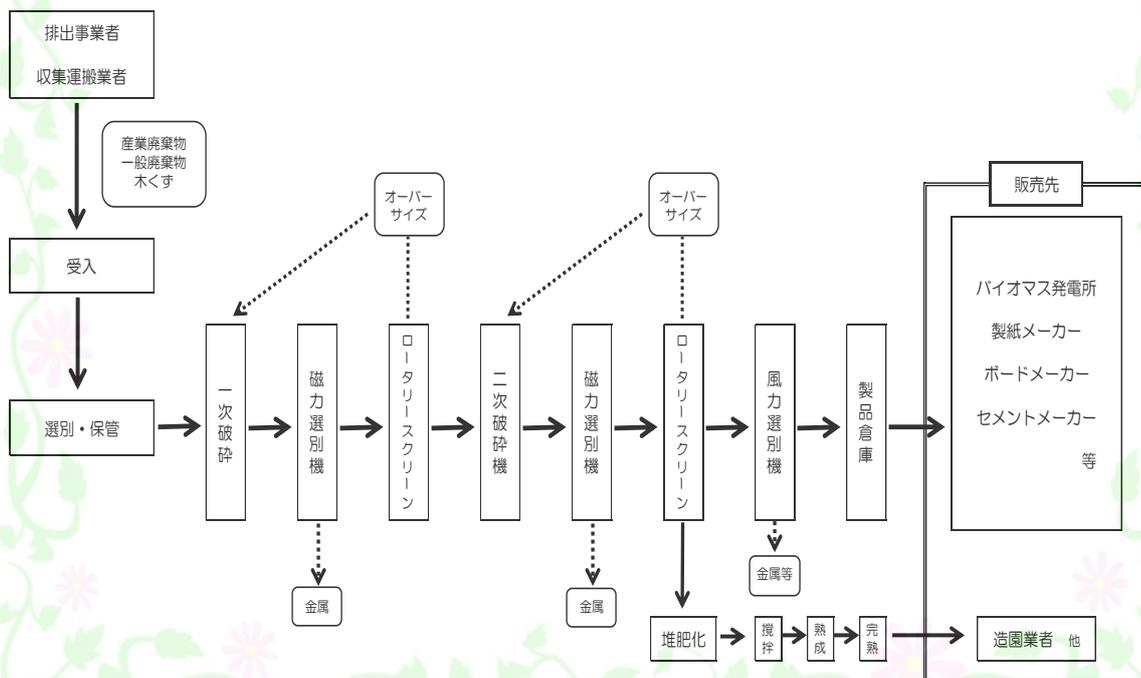
### ○従業員

- ・環境経営方針や各自の役割を理解し環境経営に取り組む

□許可・登録の内容

種類	発行者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	産業廃棄物の種類								
					廃油	廃プラ類	金属屑	がれき類	木くず	紙くず	繊維くず		
産業廃棄物処分業	大阪府	第02720103484号	令和2年9月4日	令和7年9月3日					●				
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02700103484号	令和2年5月26日	令和7年5月25日					●	●	●		
	奈良県	第02900103484号	令和5年12月4日	令和10年12月3日					●				
	京都府	第02600103484号	令和4年3月8日	令和8年11月12日					●	●	●		
	兵庫県	第02803103484号	令和3年11月6日	令和8年11月5日					●	●	●		
	滋賀県	第02501103484号	令和3年12月24日	令和8年12月5日					●				
	三重県	第02400103484号	令和5年1月13日	令和9年10月25日					●				
	和歌山県	第03000103484号	令和4年3月29日	令和9年3月4日					●				
一般廃棄物再生利用業（再生活用）	大東市	再生活用第28-7号	令和3年7月1日	令和8年6月30日					●				
一般廃棄物再生利用業（再生輸送）	大東市	再生輸送第28-7号	令和3年7月1日	令和8年6月30日					●				
	枚方市	第4号	令和5年4月1日	令和7年3月31日					●				
	高槻市	106Y203	令和4年6月1日	令和8年3月31日					●				
	四條畷市	第13号	令和2年6月1日	令和7年5月31日					●				
	東大阪市	第11号	令和3年4月1日	令和8年3月31日					●				
	生駒市	第30002号	令和3年11月18日	令和6年11月17日					●				
	大阪市	第1119号	令和6年7月1日	令和8年6月30日					●				
	交野市	第5-2号	令和5年4月1日	令和7年3月31日					●				
	守口市	第18号	令和6年4月1日	令和8年3月31日					●				
	寝屋川市	007	令和6年8月1日	令和8年7月31日					●				
	堺市	第輸-43号	令和4年11月16日	令和6年10月31日					●				
	高石市	第5号	令和6年8月23日	令和8年9月11日					●				
	門真市	第3号	令和6年4月1日	令和8年3月31日					●				

□廃棄物処理フロー



環境経営計画に基づく取り組み内容



①水場には節水表示



②節電表示



③リユースシールを貼り  
古いファイルを最後まで活用



④事務所の電灯を全て  
LEDライトに交換済



⑤工場電気デマンドメーター  
負荷の大きい作業時にアラート警告  
電気使用量の日々管理



⑥ドライバーズミーティング  
現場ルート・ルールの周知徹底  
運転マナー・エコドライブ指導



⑦井戸水活用  
大型タンクに貯水  
水道の利用削減



⑧シュレッダー済用紙・古紙類  
使用済み段ボールは、まとめて古紙リサイクルへ  
最終的にトイレットペーパーに



⑨缶・ビン・ペットボトル  
全てリサイクルに出して再利用



⑩防塵ネット設置  
破碎工程の中で周囲への飛散を防ぐ

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	基準年 (2021年度)	2022年度	2023年度
生産高	t	79,868	77,353	78,318
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,285,804	1,389,634	1,056,577
受託収集運搬量	t	9,077	10,104	8,372
受託中間処理量	t	59,400	54,940	49,593
一般廃棄物排出量	袋	190	186	202
産業廃棄物排出量	kg	28,840	30,200	28,970
水道水使用量	m <sup>3</sup>	5,213	5,166	6,028

## □環境目標及びその実績

項目	年度	基準年度 (2021年度)	2023年度		2024年度	2025年度
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 (事務所)	kg-CO <sub>2</sub> /t	0.112	0.110	0.088	0.109	0.108
	基準年度比	-	98.0%	78.6%	97%	96%
	kg-CO <sub>2</sub>	12,107	11,865	6,894	-	-
電力による二酸化炭素削減 (工場)	kg-CO <sub>2</sub> /t	1.491	1.461	1.416	1.446	1.431
	基準年度比	-	98.0%	95.0%	97%	96%
	kg-CO <sub>2</sub>	119,077	116,695	110,902	-	-
ガソリンによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	0.474	0.465	0.423	0.460	0.455
	基準年度比	-	98.0%	89.2%	97%	96%
	kg-CO <sub>2</sub>	37,885	37,127	33,123	-	-
軽油による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	13.982	13.703	11.564	13.563	13.423
	基準年度比	-	98.0%	82.7%	97%	96%
	kg-CO <sub>2</sub>	1,116,735	1,094,400	905,658	-	-
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub> /t	16.059	15.739	13.491	15.577	15.417
	基準年度比	-	98.0%	84.0%	97%	96%
	kg-CO <sub>2</sub>	1,285,804	1,260,088	1,056,577	-	-
一般廃棄物の削減	袋	190	186	202	184	182
	基準年度比	-	98%	106.3%	97%	96%
産業廃棄物の削減	kg/t	0.361	0.354	0.370	0.350	0.347
	基準年度比	-	98%	102.5%	97%	96%
水道水の削減	m <sup>3</sup> /t	0.065	0.063	0.077	0.063	0.062
	基準年度比	-	98%	118.5%	97%	96%
グループ外への出荷割合低減による製品輸送時の環境負荷低減	kg/t	45.93	45.01	37.77	44.55	44.09
	基準年度比	-	98%	82.2%	97%	96%

※二酸化炭素排出係数 事務所： 0.309 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 令和3年度実績調整後

工場： 0.173 kg-CO<sub>2</sub>/kWh グリーンパワー大東 令和3年度実績調整後

※評価は原単位 (CO<sub>2</sub>/生産量) ベース

※kg-CO<sub>2</sub>は目標ではない

※PRTR物質の使用がない為、化学物質の削減目標を設定していません。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
<b>電力による二酸化炭素削減（事務所）</b>		
数値目標（生産量原単位）	○	コロナ対策として行っていた「常時照明オン・常時換気」を取りやめたことや、事務所の電気をLEDに変更した事で大きな成果が出た。次年度は古いエアコンの取り換えも検討したい。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不在箇所の（会議室、トイレなど）消灯	○	
・使用しない電気機器は電源をオフにする	○	
・ノー残業デーの導入	◎	
<b>電力による二酸化炭素削減（工場）</b>		
数値目標（生産量原単位）	○	電気使用量を前年より8%削減することができた。更に排出係数を最新のものに見直したことで、より実情に沿ったCO2排出量が算出されている。EA21を意識した自助努力による達成結果と思われるため、次年度も意識して取組んでいく。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不在箇所の（休憩室、トイレなど）消灯	○	
・作業中以外の機械の停止	○	
・デマンドメーターを利用した機械に負荷の少ない作業	○	
・照明機器のLED化（継続）	△	
<b>ガソリンによる二酸化炭素削減</b>		
数値目標（生産量原単位）	○	エコドライブ・取引先へのルートの見直しに加え、リモートでの打合せや電子契約システムを取り入れた営業の自助努力が反映されたと感じたため、次年度も継続していく。
・社内外でのアイドリングストップの徹底	○	
・効率的なルートで移動	○	
・エコドライブの実践	○	
・電子契約システム導入、リモート打ち合わせ	◎	
・車内冷暖房の適正利用	○	
<b>軽油による二酸化炭素削減</b>		
数値目標（生産量原単位）	○	収集運搬車両・工場内の重機の省エネ運転を意識し、年間通して使用量を抑える事で出来た。引続き省エネ運転等の取り組みを行っていく。
・社内外でのアイドリングストップの徹底	◎	
・機械のエンジン回転数の調整	○	
・効率的なルートでの運搬(有料道路利用)	◎	
・車両運行管理システムを活用した指導	○	
・急ブレーキや急発進を控えたエコドライブの実践	○	
・車内冷暖房の適正利用	○	
・月に一度のドライバーズミーティング	○	
・ドライバー、営業への過積載の注意喚起	○	
<b>一般廃棄物の削減</b>		
数値目標	×	紙、段ボール、ペットボトル、缶、瓶などの再資源できる物の分別には意識して取り組んでいたが、営業日数に対して袋数で集計する現状のやり方では正確な計測ができないと感じる。次年度からは計測単位を「袋」から「kg」への変更を検討したい
・分別の徹底	○	
・紙、プラスチック、缶、瓶、ペットボトル再資源化	○	
<b>産業廃棄物の削減</b>		
数値目標（生産量原単位）	×	異物混入率の高い家具類の受入れが基準年よりも約50%増えたことが主な原因だが、人員配置、従業員の目視確認を意識した自助努力による成果は感じるので、今後も継続して取り組む。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・異物混入の防止対策	○	
・分別の徹底	○	
・手降ろし場での従業員による目視確認	○	
・紙やプラスチックの再資源化	○	
<b>水使用量の削減（当社の水使用量は水道水の削減を目標とする）</b>		
数値目標（生産量原単位）	×	強風による粉塵への対策として散水を強化したため、7-11月の使用量が増加し未達成となった。12月から散水に加え防塵ネットを設置することで使用量を減らすことができた。引き続き効果が現れると思うので期待したい。
・節水の徹底	△	
・不要時の散水停止の徹底	○	
・井戸水の使用	◎	
・防塵ネット設置	◎	
・社有車の洗車時節水	△	
・掃き掃除を増やし、散水掃除を抑える	△	
<b>製品・サービスにおける環境配慮</b>		
数値目標	○	課題となっていたBPS大東の定修月（5月）を達成し、年間通して出荷バランスを意識した結果、目標達成となった。来年度からはBPSいこまが稼働するのでさらなる削減に大きく期待したい。
・近距離グループ施設(BPS大東)への出荷量確保	○	
・出荷車両の安定確保	○	
・入出荷バランスの調整	◎	

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(木くず、廃蛍光灯)、一般廃棄物(木くず)
自動車NOx・PM法	収集運搬車両
自動車リサイクル法	車両
オフロード法	バックホウ、ペイローダー
消防法	消火設備の点検、指定可燃物届出
フロン排出抑制法	空調簡易点検実施

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

### 1.総括

前回の審査では未達成ながらも、あと一步という項目が複数あった事を顧みて、目標達成手段の見直しを実施した。  
結果、今回は8項目中5項目を達成する事ができた。エコアクションを意識した、より実情に沿った取組み成果だと感じる。  
「一般廃棄物削減」の中で、再資源化を意識した分別を行っているが、現状の計測方法ではその効果が反映されづらいと感じる。次年度からは単位を「袋」から「重量」に変更して取組むことを指示する。  
また、9月から「BPSいこま」が稼働するので、環境負荷低減や事業の収益性アップ等、多方面において良い影響があることを確信している。引き続き全社員での積極的な取組みを期待する。

### 2.変更の必要性の指示

- ・環境方針  
変更の必要性 要 否  
【コメント】 継続して本方針で取組む
- ・目標、環境活動計画  
変更の必要性 要 否  
【コメント】 8項目の内、5項目が目標達成し前年と比較すると大幅に改善した。目標達成手段を見直したことによる成果と考えられるので、継続を期待する。
- ・その他  
変更の必要性 要 否  
【コメント】 一般廃棄物の計測単位を「袋」から「重量」に変更することを指示する